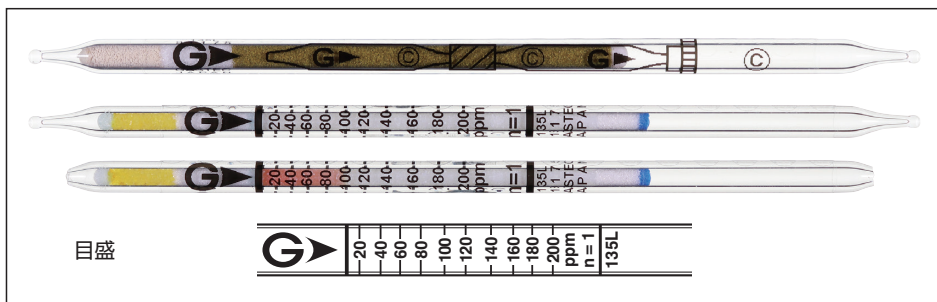


1,1,1-トリクロロエタン CH₃CCl₃

No.135L

1,1,1-Trichloroethane



仕様

測定範囲	6 ~ 20 ppm	20 ~ 200 ppm	200 ~ 900 ppm
吸引回数	2回 (200mL)	1回(基準) (100mL)	1/2回 (50mL)
係数	0.3	1	4.5
測定所要時間	6分	3分	1.5分

検知限度： 3 ppm (2回吸引)

変色： 白色 → 淡桃色

温・湿度補正： 温度

有効期間： 27 か月

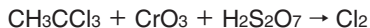
変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 = σ : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

1,1,1-トリクロロエタンは酸化剤により塩素を遊離し、3,3',5,5'-テトラメチルベンジジンと反応して淡桃色を呈する。



干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
ハロゲン		+	淡桃色に変色
窒素酸化物		+	淡桃色に変色
飽和ハロゲン化炭化水素		+	淡桃色に変色

この検知管で測定できる他のガス

ガス名	換算方法	吸引回数	測定範囲
1,2-ジクロロエタン	係数：5.2	1	104 ~ 1040 ppm
1,1,2,2-テトラブロモエタン	係数：0.046	4	0.92 ~ 9.2 ppm
1,2,3-トリクロロプロパン	係数：1.8	4	36 ~ 360 ppm

校正用ガス

高圧ガス容器詰法